

機関紙 たいとう に
皆様の記事を
お寄せ下さい!

採用された方に
500円分クオカードを
プレゼントします。

たいとう

東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp
HP:http://doken-taito.jp
編集 遠藤 顕寛



補償基金制度の創設を訴えました

基金制度創設をめざす アスベスト製造企業は和解に応じよ

梅雨空のもと、日比谷野外音楽堂には大勢の仲間がいました。6月16日に「建設アスベスト訴訟の全面解決をめざす全国総決起集会」が開かれました。この集会には、建設アスベスト訴訟全国連絡会、東京都連、東京・埼玉、千葉、神奈川県、各県の建設労働組合が集まりました。主催者発表では800名が参加、台東支部からは8名でした。弁護団や連絡会代表からの訴えと今後の活動を報告します。

神奈川・東京・京都・大阪の各一陣訴訟は、5月17日の最高裁判決により原告が勝訴し、18日に国側の菅首相の謝罪会見が行われました。同日夕刻には田村厚労大臣と原告弁護団、全国連絡会が「基本合意書」に調印する運びとなりました。これにより国との和解が成立し、その他の地裁・高裁で係属している訴訟も和解となります。全国統

一の和解基準が制定となり、未提訴被害者もあらためて裁判をおこさずとも国の補償を受けられる制度ができたことになりました。最初に東京やつと勝ち得た和解案です。

交渉は継続

弁護団は訴えます。国に勝訴した一方で、アスベスト建材製造企業側との話し合いは継続中であり、交渉のテーブルにすらつかない企業もあります。アスベストの製造販売の占有率が高い主要企業10社の共同不法行為責任を

国全体の問題として

今回の最高裁判決により国との「基本合意書」は取り交わされましたが、この先にある国・建材製造企業との引き続き

認める司法判断が確定したもの一部企業の責任は否定しませんでした。この先もアスベスト被害者は交渉を続けていかなくてはならず、すべてが解決したわけではなく、また、建材への警告表示違反の違法期間外の被害者、屋外工とされる原告は補償の対象から外されており、この点においては不当判決といえます。の交渉による「建設アスベスト補償基金」を創設させて、すべてのアスベストによる被害者が救済される枠組みをつくる必要があります。私たちは組合員だけではなく日本国民全体の問題ととらえて、アスベスト被害を広く告知する活動として毎月1回の定例宣伝を入谷駅頭で行っています。みなさんの活動への参加をお願いします。

杉本良信

共同不法行為（民法719条）とは・・・

数人が共同の不法行為によって他人に損害を加えたときは、各自が連帯してその損害を賠償する責任を負う。共同行為者のうちいずれの者がその損害を加えたかを知ることができないときも、同様とする。



台東区企画財政部との懇談の様子

コロナ対策を進めて欲しい 区へ要望を伝える

「区独自の給付金制度」
「中小企業の支援策の融資制度創設」
「住宅リフォーム制度の拡充」
「建設労働者も感染防止対策協力金の対象に」
「消費税減税」等を強く求めました。台東区は企画財政部部長と財政課課長が丁寧に対応してくれましたが、新しいコロナ対策が早急に出てくるのは難しいです。

入谷口の下りエスカレーターへの増設や鶯谷駅へ行くエレベーターの新設等の要望が実現した実績があります。2015年を最後に活動を休止していましたがこのコロナ禍で台東区に要望を出すべきだとの意見があり再起動となりました。今後は台東区の来年度予算に我々の要望を盛り込んでもらうために活動をしていくこととなります。皆様の台東区への要望をお寄せください。東

5月26日東京土建台東支部は「共同する会」の一員として台東区に緊急コロナ要望書を提出しました。12項目の要望書で土建としては

「共同する会」は15年以上前から地域の労働組合・民主商工会・市民団体が一緒になって台東区に要望を伝える活動を行っている会

松が谷分会
寺山邦裕

五重塔

前号の支部概略を簡単に捕捉します。

1961年3月第3回大会千束3丁目会館
8月支部事務所を永住町124（現浅草5丁目）、田中外茂吉方へ移転
1962年現勢420人、1月第4回大会
1963年1月、第5回大会浅草新世界
1964年1月、第6回大会上野クラブ
1965年2月、第7回大会鮎忠親和会館
1966年現勢550人、4月新事務所移転、吉原大門裏。5月第8回大会同所会議室にて開催。

1967年4月都知事選、美濃部亮吉革新統一候補当選。5月24日25日東京土建第20回定期大会支部8人参加。全都組員は26,238人。
1968年現勢650人、4月21-22日第10回大会箱根清光園、結成10周年初の1泊大会。10月東京土建中央執行委員会で組織再編確認、14支部新設。
1986年現勢922人、7月20日第13回支部幹部学校、朝日弁天会館48人が参加。
以下省略

～ 続報 ～ コロナワクチン接種2回目

2回目のコロナワクチンを接種しました。前回同様問診票に記入し予約時間に行きましたが、みんな慣れたせいか実に早くすべてが終わりました。副反応が気になり色々な人に結果をきいてみました。20代から30代は発熱した人が多かったようですが、私と年齢が近い人は注射をした箇所が痛いとか腕が上げにくいといった、一回目と同じような症状でした。他

医療従事者として

にも持病（耳鳴り・腰痛等）のある人は、その弱いところが2、3日具合が悪かったそうです。私の場合は意外にも内出血は見たことない」と驚かれました。「多分針が血管に刺さったか骨に当たったのではないかとはいわれませんでした。でもワクチンは効いているそうなので安心してました。今は肘近くまで内出血の跡が下がって自分のことながら痛々しい感じですが、松が谷分会 今井啓子



劇場前での吉田さん家族

「ゾウにシマウマにチーター、本物みたいな動きだった」「ライオンの歌が格好よかったよ」「開口一番、たかひろ君、はるき君の兄弟は目を輝かせて言います。コロナ禍においても楽しめるイベントとして、劇団四季のミュージカル「ライオンキング」を企画しました。6月6日に大井町の四季劇場に組合員とその家族が14組40人集まりました。昨年の「アラジン」に続いてのミュージカルイベントです。「ライオンキング」は1998年以来20年以上にわたり公演が続けられており、以前に観たことがあるというひともしいるのではないのでしょうか。一部ストーリーを紹介すると・・・

サは息子シンバに、生命は永遠に受け継がれるという自然界の摂理を教えます。ある日、シンバの叔父スカーが王位を狙い、父は殺されてしまいます。シンバは群れを離れ、友と出会って「ハクナ・マタタ（くよくよするな）」を予定しています。

この歌に励まされながら成長します。幼ともだちに助けを求められたシンバは、叔父スカーと対決すべく再び故郷をめざします。

ワクチン接種も医療従事者や高齢者中心に進みつつあります。しかしコロナウイルスそのものが無くなるわけではなく、不便を強いられる生活が当面続くでしょう。外出や旅行、会食などもままならない日々かもしれません。密を避けて感染対策を取って楽しめる企画として、秋にミュージカル「アナと雪の女王」の観覧を予定しています。

動物たちに似ていてびっくり 初めてのミュージカル体験

国は労働者のために 政策転換を図れ

東京土建本部が主催する「幹部学校」が、6月28日の日曜に行われました。昨年はコロナの影響でできず、2年振りの開催となりました。けんせつプラザをメイン会場とし、各支部会館をオンラインでつなぎました。台東支部会館には支部役員とともに、文京支部の役員も参加、一日学びました。基調講演では法政大学教授の山口二郎氏が「新自由主義の終わりと市民連合の役割」について、わかりやすく話してくれました。



山口教授の講演に聞き入りました

本では経済が長期にわたり停滞し、富裕層と貧困層の格差が進みました。極力人口に占める労働者の割合を高めることが必要です。非正規雇用の割合が90年代前半には2割でしたが、3年前には4割を超えています。小泉政権以降、公務員削減・公立病院や

保健所の縮小が続き、失われてきた公共性が今回のコロナ危機で露呈しました。昨年誕生した米国のバイデン政権は、労働者のための政策を打ち出し、トリクルダウンを否定しました。日本に必要なのは、市民連合における役割が述べられました。

夏本番です。熱中症は高温多湿な環境に、私たちの身体が適応できないことで生じる症状の総称です。特に屋外で働く私たちの仲間や子供、お年寄りは熱中症発症のリスクが高まります。危険性が心配されます。日頃から体調管理に留意して、バランスの良い3食かずず食事をとり、十分な睡眠をこころがけましょう。仕事中はこまめな水分補給と休憩が必要です。また、昨年以降猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症の流行により、ほとんどの人がマスクを着用しています。マスク着用時は息苦しさを感ずるようになります。呼吸もしづらくなります。適宜マスクを外して休憩をとりましょう。

情報コーナー

「新品のブラインド譲ります」
W88 × H183cm
カラー：ダークオーク
(松が谷分会 E・H)

※ご希望の方は支部へ連絡をください。そのあとは直接当事者同士でやり取りいただきます。
なお「たいとう」及び台東支部ではトラブル等に関知いたしません。

熱中症に気を付けましょう!

- こまめな水分補給と適度な塩分補給をしましょう。
- 体温の上昇を防ぎましょう。
- 周囲の人の様子に注意しましょう。